

(参考2) セーフガード措置発動状況

[全43(21)件、本措置発動件数32(15)件、暫定措置のみ発動件数11(6)件] ()内は農産品

確定措置	発動国	対象品目	経緯	輸入増加・国内産業の損害状況(例)	措置内容	
96.11.28	米国	ほうきもろこし製ほうき	96. 3. 4 調査開始 96. 7. 2 損害等の認定 97. 4.28 コロンビア協議要請 98.12. 3 措置撤回	・輸入増加率(数量比) 95/91) 1.8倍 ・輸入シェア(数量比) 91 95) 20.9% 36.5%	・生産量 95/91) 15.6%減 ・利益率(収入/販売) 91 95) +0.3% 1.1%	3年間の関税引上
97.1.1	ブラジル	玩具等	96. 6.18 調査開始 96.11.19 損害等の認定 00. 1. 1 4年間の措置延長	・輸入増加率(価額比) 95/92) 15.9倍 ・輸入シェア(価額比) 92 95) 4.42% 30.27%	・生産額 95/94)15%減 ・総利益 94 95) 8.3%P減 営業利益 94 95) 27%P減 経常利益 94 95) 29%P減 純利益 94 95) 27%P減	3年6ヶ月間の関税引上 暫定措置 (96.7.4~96.12.31)
97.3.7	韓国	脱脂粉乳、調製品	96. 5.28 調査開始 96.12. 2 損害等の認定 99. 6.21 パネル裁定(協定違反) 99.12.14 上級委裁定(協定違反) 00. 5.20 措置撤回	・輸入増加率(数量比) 95/93) 8.7倍 ・輸入シェア 93 96前半) 1.6% 14.1%	・生産量 95/94)4.2%増 96前半/95前半) 4.4%増 ・経常利益 93 99.1-6) +6720百万WON 17546百万WON	4年間の輸入数量制限
97.9.13	アルゼンチン	履物	97. 2.25 調査開始 97. 7.25 損害等の認定 98.11.16 関税割当に措置変更 99. 6.25 パネル裁定(協定違反) 99.12.14 上級委裁定(協定違反) 00. 1.12 採択 00. 2.24 上級委の裁定を受け、マルチ -ルを除いた損害認定 を行っ た後、150日間の措置延 展	・輸入増加率(価額比) 96/91) 2.6倍 ・輸入シェア(価額比) 91 95) 10% 27%	・生産額 95/91) 6%減 95/94) 21.5%減 ・総利益/売上高比率 91 95) 32% 27%	3年間の関税引上 暫定措置 (97.2.25~97.9.12)
98.6.1	米国	小麦グルテン	97.10. 1 調査開始 98. 1.15 損害等の認定 00. 7.31 パネル裁定(協定違反) 00.12.22 上級委裁定(協定違反) 01. 1.19 採択 01. 1.24 EC対抗措置発動 01. 1.25 米国がECに協議要請 01. 6. 1 措置終了	・輸入増加率(数量比) 97/93) 1.4倍 ・輸入シェア(数量比) 93 97) 51.4% 60.2%	・生産量 97/93) 4.5%減 ・損益 「97,98年は経営損失が発生」	3年間の輸入数量制限
98.10.9	インド	カーボン・ブラック	98. 2. 5 調査開始 98. 7. 1 損害等の認定	・輸入増加率(数量比) 96.10 - 97.9/94.10 - 95.9) 0.61 倍 97.4-9/96.4-9) 7.5倍 ・輸入シェア(数量比) 95年度 97.4-9) 8.95% 26.5%	・生産量 96FY/94FY) 36.5%増 97.49/96.4-9) 14.3%減 ・損益 A社97FY/96Fy) 利益が56%減 B社97年前半) 3百万Reの損失 C社97FY前期/後期) 損失が53.6% 増 国内シェアは不明	約5ヶ月間(～99.2.28)の関税 引上

確定措置	発動国	対象品目	経緯	輸入増加・国内産業の損害状況(例)	措置内容	
98.12.10	インド	アセチレン・ブラック	97.11.28 調査開始 98.6.16 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 96FY/94FY) 140.9倍 ・輸入シェア(数量比) 95FY 97.4-9) 1.95% 32.62% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 96FY/94FY) 2.4%減 97.4-9/96.4-9) 22.3%減 ・損益 「販売減少に伴う営業損失と生産コストの増加」 	2年間の関税引上
98.12.24	インド	フレキシブル・スラブ・ストック・ポリヨール	98.2.26 調査開始 98.9.17 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 96FY/94FY) 1.9倍 97.4-8/96.4-8) 2.76倍 ・輸入シェア(数量比) 94FY 97.4-9) 23.3% 95.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 96年度/94年度) 22.4%増 97.4-8/96.48) 61.8%減 ・損益 「平均販売価格は、数年間減少」 	1年6ヶ月間の関税引上
98.12.24	インド	プロピレン・グリコール	98.2.26 調査開始 98.9.11 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 96FY/94FY) 3.1倍 97.4-8/96.4-8) 1.6倍 ・輸入シェア(数量比) 94FY 97.4-8) 6.9% 27.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 96FY/94FY) 0.04%増 96FY/95FY) 0.6%減 ・損益 「生産者は、市場シェアを維持するために、損失のリスクの中で価格を下 	1年6ヶ月間の関税引上
99.2.19	エジプト	安全マッチ	98.8.5 調査開始 99.2.1 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 98.1-4/95.1-4) 5.1倍 ・輸入シェア 95 98.1-4) 6% 26% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 97/96) 13.7%減 98.1-4/97.1-4) 4%減 ・損益(カートン当たりの利潤) 97/96) 30.2%減 98.1-4/97.1-4) 61%減 	3年間の関税引上 暫定措置 (98.8.8 ~ 99.2.18)
99.6.30	インド	フェノール	99.2.2 調査開始 99.5.12 損害等の認定 01.1.30 2年間の措置延長	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 97/94FY) 2.3倍 98.4-12/97.4-12) 2.1倍 ・輸入シェア(数量比) 94FY 98.4-12) 11.48% 33.67% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 97FY/94FY) 19.9%増 98.4-12/97.4-12) 6.7%減 ・損益(損失) A社 98.12/98.4) 30.3%増 B社 98.12/98.8) 24.5%増 国内シェアは不明 	2年間の関税引上
99.7.22	米国	子羊肉(生鮮、冷蔵、冷凍)	98.10.7 調査開始 99.2.9 損害等の認定 00.12.21 パネル裁定(協定違反) 01.5.1 上級委裁定(協定違反) 01.5.16 採択 01.11.15 措置撤回	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 97/93) 1.5倍 98.1-9/97.1-9) 1.2倍 ・輸入シェア 93 98.1-9) 11.2% 23.3% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 97/93) 23%減 98.1-9/97.1-9) 3.4%減 ・所得(千\$) 卸業者: 98.1-9/97.1-9) 3,205 4,951 飼育業者: 98.1-9/97.1-9) 3,072 1,522 	3年間の関税割当
99.9.20	チェコ	砂糖(甘しや糖、てん菜糖等)	99.3.3 調査開始 99.9.15 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) (98.10-99.6)/(95.10-96.6) 1.9倍 (98.10-99.6)/(97.10-98.) 2.7倍 ・輸入シェア 95 98.10~99.6) 5.65% 24.72% 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売量 98.10~99.2対前年同期比) 29.3%減 ・損益 「甜菜業者は、6.2億CZKの損失」 	4年間の関税割当 暫定措置 (99.3.12 ~ 99.9.19)

確定措置	発動国	対象品目	経緯	輸入増加・国内産業の損害状況(例)	措置内容	
99.12.18	ラトヴィア	豚肉	99.5.20 調査開始 99.12.14 損害等の認定 00.5.31 措置撤回	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 98/96) 0.94倍 ・輸入シェア 96 98.5~99.4) 4.65% 7.16% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 98/96) 33.4%増 98.5-99.4/98.1-98.12) 2.4%増 ・総利益/売上高比率 96 98.5~99.4) 1.6% 19% 	2年6ヶ月間の関税引上 暫定措置 (99.6.1~99.12.17)
00.1.22	チリ	小麦等	99.9.30 調査開始 00.1.18 損害等の認定 00.10.5 アルゼンチン協議要請 00.11.26 1年間の措置延長 01.1.19 パネル要求 01.3.12 パネル設置 01.7.26 措置撤回	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 99.1-10/98.1-10) 3.8倍 ・輸入シェア 不明 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 28%減少(推計) ・損益(純利益マージン) 20%~90%減少(推計) 	1年間の関税引上 暫定措置 (99.11.26~00.1.21)
00.1.27	インド	アセトン	99.6.16 調査開始 99.10.7 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 98FY/94FY) 3.2倍 ・輸入シェア(数量比) 94FY 98FY) 33.5% 42.2% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 98FY/94FY) 0.3%減 98FY/97FY) 3.7%減 ・損益 A社98年度IV/I) 損失が31.2%増 B社98年度IV/I) 純益が32.6%減 A,B社の国内シェア = 96.7% 	2年6ヶ月間の関税引上
00.2.27	エジプト	蛍光灯	99.9.19 調査開始 00.2.25 損害等の認定 01.2.27 1年間の措置延長	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 98年度/96年度) 3.2倍 ・輸入シェア(輸入量/生産量比) 96年度 98年度) 100% 262% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量(輸入シェアを参照) ・損益 「98年度に損失が生じた」 	1年間の関税引上
00.3.1	米国	鉄鋼線材	99.1.12 調査開始 99.5.26 損害等の認定 00.11.30 ECが協議要請 01.8.8 ECがパネル設置要求 01.11.21 ECが協議要請取下げ 01.11.24 国別関税割当枠を導入	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 98/94) 1.4倍 ・輸入シェア(数量比) 94 98) 24.4% 29.7% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 98/94) 3.85%増 98/97) 3.9%減 ・収益(損失) 94 98) +91,390千\$ 170,793千\$ 	3年間の関税割当
00.3.1	米国	溶接ラインパイプ	99.7.29 調査開始 99.10.28 損害等の認定 00.6.13 韓国が協議要請 00.9.14 韓国がパネル設置要請 (日本は第3国参加) 00.10.23 パネル設置 00.11.30 ECが協議要請 01.8.8 ECがパネル設置要求 01.10.29 パネル裁定(協定違反) 02.2.15 上級委裁定(協定違反)	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 98/94) 1.8倍 ・輸入シェア(数量比) 94 99.1-6) 22.8% 33.0% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 98/94)5.4%増 99.1-6/98.1-6) 31.6%減 ・収益(損失) 94 98) 7,123千\$ +2,124千\$ 98.1-6 99.1-6) +9,210千\$ 15,338千\$ 	3年間の関税割当

確定措置	発動国	対象品目	経緯	輸入増加・国内産業の損害状況(例)	措置内容	
00.6.1	韓国	にんにく	99.10.16 調査開始 00.2.2 損害等の認定 00.6.1 確定措置発動 00.6.7 中国対抗措置発動 00.8.2 措置内容修正	・輸入増加率(数量比) 98/96) 3.8倍 99.1-9/98.1-9) 1.3倍 ・輸入シェア 96 99.1-9) 3.3% 12.2%	・生産量 98/96) 13.6%減 ・利益(WON/ヘクトール) 99.1-9/98) 57%減	3年7ヶ月間の関税割当 暫定措置 (99.11.13~00.5.31)
00.11.8	チリ	化繊靴下	00.2.9 調査開始 損害等の認定通報なし 00.11.7 確定措置通報 01.4.30 6ヶ月間の措置延長	・輸入増加率(数量比) 99/96) 2.2倍 ・輸入シェア(数量比) 96 99) 41% 62%	・生産量 99/96) 7.3%減 99/98) 16.7%減 ・損益(製品の単位当たりの利益) 99/98) 68%減	1年間の関税引上 暫定措置 (00.4.27~00.11.7)
01.1.10	チリ	脱脂粉乳・牛乳	00.6.21 調査開始 01.1.12 損害等の認定	・輸入増加率(数量比) 脱脂粉乳:00.1-6/97.1-6) 2.3倍 ・輸入シェア(数量比) 脱脂粉乳:97 99) 5% 6.1%	・生産量 99/95) 10.8%増 99/98) 1.4%減 ・損益 不明	1年間の関税引上 暫定措置 (00.7.13~00.1.9)
01.1.24	インド	ガンマ酸化第2鉄	00.7.6 調査開始 00.11.7 損害等の認定	・輸入増加率 99FY/95FY) 2.3倍 99FY/98FY) 1.2倍 ・輸入シェア 99 F Y 95FY) 36.8% 60.2%	・生産量 99FY/95FY) 43%減 99FY/98FY) 51.1%減 ・損益 「99FYは、98FYに比べ損失が75%増加」	1年6ヶ月間の関税引上
01.4.12	エジプト	脱脂粉乳	00.9.25 調査開始 01.3.30 損害等の認定	・輸入増加率 99/96) 1.9倍 ・輸入シェア(輸入/国内生産比) 96~98 00.1-6) 7.2~7.4% 11.1%	・生産量(輸入シェアを参照) ・損益 「99年、00年前半に利益の著しい減少があった」	3年間の緊急関税 暫定措置 (00.9.26~01.4.11)
01.4.26	モロッコ	バナナ	00.6.26 調査開始 01.1.26 損害等の認定 01.2.21 措置内容の決定	・輸入増加率(数量比) 99/97) 2.5倍 99/98) 2.8倍 ・輸入シェア 97 99) 5.2% 11.1%	・生産量 99FY/95FY) 40.2%増 99FY/98FY) 1.2%増 ・利益(DH/ha) 95年度 99年度) 46,730 23,000	4年間の関税引上 暫定措置 (00.8.10~01.4.26) W T O 通報日
01.5.1	スロヴァキア	砂糖	00.10.20 調査開始 01.4.25 損害等の認定 01.7.11 ポーランドが協議要請 01.8.1 ポーランドが対抗措置発動(~02.1.1)	・輸入増加率(数量比) 99/97) 1.7倍 99/98) 5.3倍 ・輸入シェア(数量比) 97 99) 4.1% 7.4%	・生産量 99/97) 28.8%減 ・損失 97 99) 1.3億SK 2.5億SK	4年間の輸入数量制限

確定措置	発動国	対象品目	経緯	輸入増加・国内産業の損害状況(例)	措置内容
01.6.22	アルゼンチン	モーターサイクル	00.7.22 調査開始 01.6.18 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率 「絶対的及び相対的に上昇傾向」 ・輸入シェア 96 00.1~3) 53% 70% ・生産量 99/95) 41.5%減 ・損益 「A社は、調査対象期間を通じて、純益の減少」 	3年間の関税引上
01.7.26	チェコ	イソグルコースシロップ (異性化糖)	00.12.20 調査開始 01.7.13 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 00/97) 13.3倍 00/99) 4.9倍 ・輸入シェア 97 00) 0.7% 10.7% ・生産量 00/97) 33.3%減 ・損益 不明 	4年間の関税割当 暫定措置 (01.1.10~01.7.25)
01.8.8	アルゼンチン	桃缶詰(シロップ漬け)	01.1.18 調査開始 01.7.17 損害等の認定 01.9.14 チリが協議要請	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 00/99) 1.7倍 ・輸入シェア(輸入/国内生産比) 99 00) 11% 19% ・生産量 00/99) 12%減 ・損益 「00年の粗利益はほぼ0%で、10%となった企業もある」 	3年間の関税引上 暫定措置 (01.1.19~01.8.7)
01.9.1	ジョルダン	ビスケット	00.12.10 調査開始 01.8.21 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 期間不明) 3.1倍 ・輸入シェア 96 00) 11% 34% ・生産量 00/96) 21%減 ・損益 「赤字は著しく継続的である」 	3年間の関税引上
02.3.1	リトアニア	ペイストリーイースト (非乾燥)	01.1.13 調査開始 02.2.11 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率 99/97) 4.01倍 ・輸入シェア 97 00.1 9) 8.5% 55.3% ・生産量 99/97) 25.4%減 ・損失 99/97) 67.4%増 	2年6ヶ月間の関税引上

確定措置	発動国	対象品目	経緯	輸入増加・国内産業の損害状況(例)	措置内容	
02.3.20	米国	鉄鋼製品	01.6.28 調査開始 01.10.22 損害等の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率 炭素鋼薄板 00/96) 13.7%増 (スラブ、厚板、熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板) ブリキ・ティンフリー 00/96) 30.5%増 熱間棒鋼 00/96) 52.5%増 冷間棒鋼 00/96) 52.7%増 鉄筋用棒鋼 00/96) 187.0%増 溶接鋼管 00/96) 67.0%増 継手フランジ 00/96) 30.8%増 ステンス棒管 00/96) 53.8%減 ステンス線材 00/96) 36.1%増 ステンスワイヤ 00/96) 14.7%増 ・輸入シェア 炭素鋼薄板 96 00) 11.0% 10.6% (スラブ、厚板、熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板) ブリキ・ティンフリー 96 00) 12.0% 17.4% 熱間棒鋼 96 00) 19.2% 27.5% 冷間棒鋼 96 00) 17.6% 23.7% 鉄筋用棒鋼 11.7% 25.2% 溶接鋼管 96 00) 33.8% 55.0% 継手フランジ 96 00) 50.5% 69.7% ステンス棒管 96 00) 51.8% 84.1% ステンス線材 不明 ステンスワイヤ 96 00) 31.9% 29.4% 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産量 炭素鋼薄板 00/96) 8.4%増 (スラブ、厚板、熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板) ブリキ・ティンフリー 00/96) 10.3%増 熱間棒鋼 00/96) 6.5%増 冷間棒鋼 00/96) 13.5%増 鉄筋用棒鋼 00/96) 33.6%増 溶接鋼管 00/96) 2.9%増 継手フランジ 00/96) 5.3%減 ステンス棒管 00/96) 5.3%減 ステンス線材 不明 ステンスワイヤ 00/96) 24.4%増 ・収益(損失) (単位:千\$) 炭素鋼薄板 96 00) 723,275 945,201 (スラブ、厚板、熱延鋼板、冷延鋼板、表面処理鋼板) ブリキ・ティンフリー 96 00) 115,308 143,388 熱間棒鋼 96 00) 92,249 106,950 冷間棒鋼 96 00) 13,303 25,509 鉄筋用棒鋼 96 00) 23,817 54,948 溶接鋼管 96 00) 208,496 69,907 継手フランジ 96 00) 29,539 6,939 ステンス棒管 不明 ステンス線材 不明 ステンスワイヤ 不明 	3年間の関税引上

確定措置	発動国	対象品目	経緯	輸入増加・国内産業の損害状況(例)	措置内容
	スロヴェニア	豚肉	98.10.15 調査開始	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 98.9/97.9) 1.18倍 98.10/97.10) 1.27倍 ・輸入シェア 不明 ・生産量 不明 ・損益 「国内生産者は、収入の減少による被害に苦しんでいる」 	暫定措置 (98.11.27~99.1.16) 調査終了の通報なし
	スロヴァキア	豚肉	99.5.5 調査開始 99.11.19 調査終了	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加(数量比) 98/96) 289.5倍 ・輸入シェア 97 98) 2.8%Pの増加 ・生産量 期間不明) 18,400t減 ・損益 「98年に297百万Skの損失」 	暫定措置 (99.5.21~99.12.6)
	ブルガリア	硝酸アンモニア	00.10.24 調査開始	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 99/97) 11万倍 ・輸入シェア 不明 ・生産量 期間不明) 17%減 ・損益 「国内産業に収入の減少があった」 	暫定措置 (00.11.28~01.2.28) 調査終了の通報なし
	エクアドル	マツチ	99.10.28 調査開始	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 98.7-99.6/97.7-98.6) 2.3倍 ・輸入シェア 不明 ・生産量 不明 ・損益 「99.7-98.6と98.7-99.6の期間に利益」 	暫定措置 (00.12.19 ~) W T O通報日 調査終了の通報なし
	チリ	食用油	00.12.19 調査開始 01.2.19 アルゼンチン協議要請 01.4.25 調査終了	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 99/95) 40.8倍 00.1-11/99.1-11) 5.5倍 ・輸入シェア 99 00) 13.1% 58.7% (推) ・生産量 99/95) 13%減 ・損益 「4百万US\$の固定資産投資の損失のおそれ」 	暫定措置 (01.1.13~01.4.25)
日本	ねぎ	00.12.22 調査開始 01.6.22 中国対抗措置発動 01.12.21 調査終了 01.12.27 中国対抗措置撤廃	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 00/96) 25倍 ・輸入シェア(数量比) 96 00) 0.4% 8.2% ・生産量 99/96) 2.6%減 ・損益(10ha当たりの収益性) 00/96) 45.7%減 00/99) 55.3%減 	暫定措置 (01.4.23~01.11.8)	
	生しいたけ	00.12.22 調査開始 01.6.22 中国対抗措置発動 01.12.21 調査終了 01.12.27 中国対抗措置撤廃	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 00/96) 1.7倍 ・輸入シェア(数量比) 96 00) 24.5% 38.5% ・生産量 00/96) 10.6%減 00/99) 4.7%減 ・損益(所得) 00/96) 63.3%減 00/99) 36.5%減 	暫定措置 (01.4.23~01.11.8)	
	畳表	00.12.22 調査開始 01.6.22 中国対抗措置発動 01.12.21 調査終了 01.12.27 中国対抗措置撤廃	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 00/96) 1.8倍 ・輸入シェア(数量比) 96 00) 29.7% 59.4% ・生産量 00/96) 48.5%減 00/99) 12.9%減 ・損益(作付面積×10ha当たりの所得) 00/96) 86.1%減 00/99) 52%減 	暫定措置 (01.4.23~01.11.8)	

確定措置	発動国	対象品目	経緯	輸入増加・国内産業の損害状況(例)	措置内容
	チェコ	ココア・パウダー	01.11.15 調査開始	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率(数量比) 00/98) 44.2倍 01.1-10/00) 54.2倍 ・輸入シェア 不明 ・販売量 01.1-10/00) 7.8%減 ・損益 「輸入増による逸失利益 236.8百万CZK」 	暫定措置 (01.11.30~)
	フィリピン	セメント	01. 5.28 調査開始	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率 不明 ・輸入シェア 不明 ・生産量 不明 ・損益 不明 	暫定措置 (01.12.10~)
	フィリピン	セラミック・タイル	01. 5.28 調査開始 02. 1.10 ECが協議要請	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率 不明 ・輸入シェア 不明 ・生産量 不明 ・損益 不明 	暫定措置 (02.1.9~)
	ジョルダン	録音用生テープ (4mm以下)	02. 1.24 調査開始	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率 01.1-6/00.1-6) 13.4倍 ・輸入シェア 97 01) 5% 76% ・生産量 01.6/97) 50%減 ・損益 「国内産業は、著しい損失と労働者減少を記録」 	暫定措置 (02.2.5~)
	コスタリカ	殻付米(種として使用しない)等	02. 3. 4 調査開始	<ul style="list-style-type: none"> ・輸入増加率 不明 ・輸入シェア(輸入/国内生産比) 29%~70% ・生産量 不明 ・損益 「輸入米によって、国内価格は下がり、国内生産はコスト割れし、利益を無くしている」 	暫定措置 (02.3.12~)

- 注) 1. 損害等の認定日は、S G措置適用国の調査当局が認定を行った日、又はWTO通報文書発出日(調査当局による認定日が不明な場合)とした。
2. 輸入の増加、国内産業の損害状況はWTO通報文書による。(米国はUSITC報告書による。)
3. 輸入増加率、輸入シェアについて数量比、価額比がWTO通報文書上明らかなものは、カッコ内に説明を付した。
4. 暫定措置発動時の輸入増加率、輸入シェア等は最終的に確定したものではない。

USD1 Re48,CZK37,SK49,DH12